



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,006	△18.6	263	△65.4	307	△61.2	190	△59.1
25年3月期第1四半期	4,920	△3.3	760	△7.9	793	△7.2	466	△16.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 419百万円(25.1%) 25年3月期第1四半期 335百万円(△39.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10 54	— —
25年3月期第1四半期	25 80	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	23,698	17,491	73.6
25年3月期	23,892	17,397	72.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,450百万円 25年3月期 17,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	18 00	28 00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		14 00	—	14 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	△17.4	870	△48.2	940	△45.9	630	△43.0	34 87
通期	19,500	2.0	2,950	10.7	3,050	9.5	1,950	108.2	107 92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	18,098,923株	25年3月期	18,098,923株
26年3月期1Q	30,169株	25年3月期	30,122株
26年3月期1Q	18,068,787株	25年3月期1Q	18,068,801株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済の動向は、新興国経済の景気過熱を抑えるための様々な政策がネガティブな要因も引き起こし、特に中国経済は、血液となるべき金融に絡む問題を深刻に捉える風潮も広がり始め、製造業を中心に産業界の勢いを沈静化させることとなりました。一方、先進国経済においては、下げ止まり、あるいはボトムからの浮上といった局面を表す指標が増加し、激動期からやや安定した時期に移りました。

当社グループの主力事業である巻線機事業に関連するマーケットでは、自動車向けは好調に推移しているものの、スマートフォンを中心とする情報通信向けは、ここ数年、顧客である部品メーカーが受注獲得のための激しい設備投資競争を行い、新興国の人件費の高騰や最終製品のコモディティ化によるコスト競争が急速に進み、さらに前述の様々な政策も加わり変動期を迎えました。そのため顧客が、確実な需要予測に基づく計画的投資への転換や単体設備による労働集約型からシステム設備による省人化への転換の検討を始めるなど、投資姿勢は踊り場に差し掛かりました。また、AV・家電向けは、エネルギー需要に対する資源、電力の供給不足、公害の深刻化を受け、省エネ家電普及への動きが出始めてきたものの、補助金や減税の制度作りに対する見極めが広がるなど、巻線機事業の売上は総じて減少しました。

当社グループの巻線機事業では、こういった中期的には安定したニーズの中での転換期を見据え、省人化・自動化ニーズに応えるため、自社開発の搬送システムや検査、組立などの前後工程を取り入れたFA設備の開発・生産、そして省エネ化に応えるため、ブラシレスモータ、DCモータなどの生産設備の研究開発、コスト低減のための制御システムや部品の標準化の開発などに注力しました。また、巻く技術をコアにしたフィルム搬送、ロールトゥロール、リールトゥリールなどの開発・生産拠点として長崎事業所の稼働開始、工場需要が増大するアセアン地域強化としてベトナム事務所の開設など、足元の収益にとらわれない将来の競争力強化、収益性確保に向けた様々な取り組みに積極的に経営資源を投入しました。

これらの結果、売上高は40億6百万円（前年同期比18.6%減）、営業利益は2億63百万円（前年同期比65.4%減）、経常利益は3億7百万円（前年同期比61.2%減）、四半期純利益は1億90百万円（前年同期比59.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約96%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は38億58百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント利益（営業利益）は4億2百万円（前年同期比52.8%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は30億80百万円（前年同期比24.5%減）、売上高（生産高）は36億13百万円（前年同期比15.0%減）、当第1四半期末の受注残高は42億8百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、需要の減少に伴い、連結売上高は93百万円（前年同期比35.1%減）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同期比52.4%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は1億18百万円（前年同期比13.9%減）、売上高（生産高）は93百万円（前年同期比35.1%減）、当第1四半期末の受注残高は1億64百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は53百万円（前年同期と同額）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比7億83百万円減少し、158億20百万円となりました。これは主として、現金及び預金が2億44百万円、原材料及び貯蔵品が1億9百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が9億76百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比5億89百万円増加し、78億78百万円となりました。これは主として、投資有価証券が6億46百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比1億93百万円減少し、236億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比2億97百万円減少し、50億36百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が4億38百万円、未払法人税等が2億1百万円、賞与引当金が1億52百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比9百万円増加し、11億71百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比2億87百万円減少し、62億7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比94百万円増加し、174億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結業績予想につきましては、平成25年8月2日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,606,103	9,850,453
受取手形及び売掛金	4,002,387	3,025,423
仕掛品	1,950,543	1,951,313
原材料及び貯蔵品	578,767	688,405
繰延税金資産	182,090	123,808
その他	287,421	183,833
貸倒引当金	△3,565	△2,756
流動資産合計	16,603,748	15,820,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,933,224	2,892,547
機械装置及び運搬具(純額)	422,002	407,219
土地	1,590,665	1,590,665
その他(純額)	196,051	200,064
有形固定資産合計	5,141,944	5,090,496
無形固定資産		
その他	91,018	85,149
無形固定資産合計	91,018	85,149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,490,094	2,137,093
繰延税金資産	13,713	—
その他	558,080	572,530
貸倒引当金	△6,481	△7,042
投資その他の資産合計	2,055,407	2,702,581
固定資産合計	7,288,370	7,878,227
資産合計	23,892,118	23,698,709
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,361	3,317,373
未払法人税等	257,768	56,306
賞与引当金	305,337	153,241
その他	1,014,065	1,509,266
流動負債合計	5,333,532	5,036,188
固定負債		
退職給付引当金	355,088	346,209
負ののれん	23,103	11,551
その他	783,110	813,253
固定負債合計	1,161,302	1,171,015
負債合計	6,494,835	6,207,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,674,604	7,539,825
自己株式	△22,917	△22,964
株主資本合計	17,078,669	16,943,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,082	180,465
為替換算調整勘定	179,807	326,499
その他の包括利益累計額合計	278,889	506,964
少数株主持分	39,724	40,696
純資産合計	17,397,282	17,491,505
負債純資産合計	23,892,118	23,698,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,920,614	4,006,107
売上原価	3,529,269	3,006,107
売上総利益	1,391,344	999,999
販売費及び一般管理費	630,834	736,724
営業利益	760,510	263,274
営業外収益		
受取利息	5,235	11,811
受取配当金	10,868	12,367
負ののれん償却額	11,551	11,551
その他	8,509	15,531
営業外収益合計	36,164	51,262
営業外費用		
債権売却損	1,332	1,940
為替差損	1,262	—
減価償却費	—	3,861
その他	107	803
営業外費用合計	2,702	6,605
経常利益	793,971	307,931
特別利益		
固定資産売却益	1,716	10
その他	120	320
特別利益合計	1,837	331
特別損失		
固定資産除却損	1,583	76
投資有価証券評価損	70,029	—
その他	152	37
特別損失合計	71,764	113
税金等調整前四半期純利益	724,044	308,148
法人税、住民税及び事業税	130,365	51,647
法人税等調整額	127,973	64,503
法人税等合計	258,338	116,151
少数株主損益調整前四半期純利益	465,705	191,997
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△496	1,537
四半期純利益	466,201	190,459

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	465,705	191,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,182	81,382
為替換算調整勘定	△95,092	146,127
その他の包括利益合計	△130,275	227,510
四半期包括利益	335,430	419,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,281	418,535
少数株主に係る四半期包括利益	△2,851	972

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,722,602	144,507	53,505	4,920,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,722,602	144,507	53,505	4,920,614
セグメント利益	854,136	33,300	44,388	931,825

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	931,825
全社費用(注)	△171,315
四半期連結損益計算書の営業利益	760,510

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,858,797	93,804	53,505	4,006,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,858,797	93,804	53,505	4,006,107
セグメント利益	402,909	15,836	27,419	446,164

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	446,164
全社費用(注)	△182,889
四半期連結損益計算書の営業利益	263,274

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。